

一 般 質 問



町民のみなさんの生活を、より良いものにするため、町に対して質問を行いました。主な内容をお知らせいたします。

- P8 …… 畠中 勝身
- P9 …… 八木 修、難波希美子
- P10 …… 井上加奈子、岡本ひとし
- P11 …… 岡田 康司、川口 省子

一 般 質 問



畠中 勝身

能勢町の防火水槽の考え方

問 防火水槽が公共施設に設置されていないのはなぜか。

答 公共施設も含め消火栓等が確保できていれば新たに防火水槽を設ける必要はないと考える。

問 防火水槽は40㎡の基準があるが、本町の状況を問う。

答 建物を新しく建てる際に、開発指導要綱と言う基準があり、防火水槽最低基準として、20㎡のこともある。

問 水槽設置に補助金があるのではないか。

答 指導要綱に基づき開発業者に負担を求めている。一般の防火水槽を作る場合は、補助金等はないように記憶している。

問 地震等で消火栓が使えなくなった場合、防火水槽に頼らないといけないのではないか。

答 防火水槽は町域で117か所の施設がある。現在のところ必要な数は揃えていると判断している。

問 底地が私有地で水槽が町有となっているものが殆どだと思うが、町として底地の部分の所有者と話をしたことはあるのか。

答 古くから防火水槽を整備するにあたり、私有地を提供して頂いている。整備については町が行い、受益者負担の観点から、維持管理を地域にお願いしている。私有地の取扱いについては、個

別に相談を受ける。頻繁に相談があると言うようには把握していない。

問 有事の際は、防火水槽は常に満水でなければならぬが、晴れ間が続くと、水位が下がるケースがある。消火栓からの補給を何とか考えられないか。

答 ご指摘の状況が一部の地域であるのか、もしくは全体的にそういった傾向にあるかを把握した上で対応していきたい。

